

令和7年度第1回愛媛県公立大学法人評価委員会の会議結果

- 1 会議の名称 令和7年度第1回愛媛県公立大学法人評価委員会
- 2 開催日時 令和7年7月29日（火曜日）18時30分から19時45分まで
- 3 開催場所 愛媛県庁第一別館11階大会議室
- 4 出席者 委員4名、事務局5名、法人8名
- 5 審議事項（議事）
 - 令和6年度業務実績報告
 - 財務諸表及び利益処分（案）
（公立大学法人愛媛県立医療技術大学に対するヒアリング等）
- 6 審議の内容（全部公開）

公立大学法人愛媛県立医療技術大学の令和6年度業務実績報告書、財務諸表及び利益処分（案）に関して、委員から法人役員に対しヒアリングを実施した。

【主な質疑等】

令和6年度業務実績報告

（県内就職・学生確保）

- 県内就職率が大きく向上したのは入学者の県内出身率が高かったからか。
⇒ お見込みのとおり。近年はコンスタントに県内からの入学者を多く確保できており、令和8年度入試からは看護学科の学校推薦型選抜の定員を10名増やす予定であるため、この傾向は今後も維持できるのではないかと考えている。
- 県内出身者の確保に傾注すると出願者数が減少する可能性がある。県内の高校生が大学に進学する際の東京・大阪への流出率はかなり高いらしいので、県内の大学を受験してもらえるような情報提供が次の課題と考える。
⇒ 一般選抜の募集枠が縮小するため、県外からの受験者はより少なくなるかもしれない。県外からも優秀な学生が受験してくれるように、県の魅力、県内の医療機関の魅力を県内の関係機関と一緒に考えていかないといけない。
- 学生募集の働きかけは高校生を主なターゲットにしていると思うが、もう少し若い年齢から看護や臨床検査といった職業へ関心を持ってもらうのが大事である。愛媛県看護協会では未就学児から高校生までを対象にした体験型イベントを実施しており、協力してくれる学生を募集した。ただ、教育機関ごとに意識の差が大きく、医技大も含め学生の参加率は良いとは言えない。就職関連のイベントや、転職を考えている看護師向けのナースセンター事業なども、周知がうまくいっていないと感じる。協会としては教育機関と連携したいと考えているので、発信した情報は学生や卒業生まで確実に届けてほしい。
⇒ そういったネットワークの強化は一つの課題にしたい。

○一般選抜前期日程の倍率が落ちているが、昨年度は高めだった。入試の倍率は上下する傾向があるので、次は高くなる見込みか。

⇒ 四国内の他の大学を見ても、同様に上下する傾向がある。

○少子化が続く中、出願倍率にはあまりこだわる必要はないと思う。学校推薦型選抜の枠を10名増やしたことで県内就職率も高水準で安定すると思われる。入学してきた県内出身学生が確実に国家試験に合格できるよう教育すれば、それでよいのではないか。

⇒ 今年を受験生は共通テストの成績があまり良くなかったが、こういった学生が四年後に国家試験合格率100%を達成すれば、本学の教育の質が高いという証明になる。定員割れを起こさないようにしたうえで、入ってきた学生をしっかりと教育して社会に送り出せば、そのほうが社会貢献として意義があると思う。

(自己収入の確保)

○医技大へのふるさと納税は砥部町全体の中で何番目の規模なのか。

⇒ 不明だが、砥部町全体では昨年度初めて1億円を超え、そのうちの約1,700万円で10数%程度を占めている。

財務諸表及び利益処分(案)

○運営費交付金が前年度より減額されているが、今後も圧縮されていくのか。

⇒ 職員の退職手当等、各年度の状況により増減しているものである。

その他

○看護師不足が加速する中、子どもに看護師を目指してもらうのであれば、PRだけでなく待遇改善は非常に大事だと思う。何らかの策を打ってほしい。

⇒ 今の若者を動かすには、使命感や精神論ではなく待遇改善に尽きる。給与を上げるなどしなければ根本的な解決には結びつかないのではないかと思うが、我々も県の受託事業で看護師確保策を検討しているところであり、できるだけことはやりたいと考えている。

[事務局]

保健福祉部社会福祉医療局

保健福祉課調整管理係

TEL 089-912-2381 FAX 089-921-8004